

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんにちは、らくだです。

本日ノベル大賞の最終発表がありました。
受賞された3名の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/winners/2017year>

あと応募総数が判明したので通過率をまとめて掲載。
こうして見ると1次は割と高かったことがわかりますね。
(それでも自分は落ちましたが……)

- ・ 応募総数 853 本
- ・ 1次通過 274 本 (約 32 %)
- ・ 2次通過 125 本 (約 15 %)
- ・ 3次通過 37 本 (約 4 %)
- ・ 4次通過 9 本 (約 1 %)
- ・ 最終選考 5 本 (約 0.5 %)
- ・ 受賞 3 本 (約 0.3 %)

今回の選考委員の総評で心を打たれたのは、「書き続けるというのも一種の才能です」という、今野緒雪先生のメッセージでしょうか。

これ、素敵な言葉じゃないですか？

多くの人は途中で諦めてしまうのに、そこでやめずに何年も書き続けられるのは、ある意味で才能なのかもしれません。

というわけで。

他の才能は全然ない自分ですが、書き続ける才能だけは（一応）ありそうなので、これから先もがんばりたいです。

こんにちは、らくだです。

とうとう 8 月になりましたが、相変わらず暑い日が続きますね。
疲れが出やすい時期でもあるので、皆様どうぞお気を付けてください。

さて本題。

第 189 回コバルト短編小説新人賞の結果が発表されました。

以下リンクです。

作品が掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no189/>

今回は珍しく入選が 2 本という結果に。

特に『海底に降る』の選評は、ラストの数行が賛否両論だったらしく、編集者の意見が真っ二つに分かれる内容でした。

ちなみに自分ですが、本文よりも先に選評を読んで、ネタバレを知る結果に。
こんなことなら何の先入観もない状態で先に本文を読めばよかったです（汗）

それはともかく、これだけ編集者が熱くなるのは、作品自体に魅力があるという証拠ですよ。

そうでなければ議論も起きないだろうし、そんな魅力的な小説を、自分もいつか書けるようになりたいです。

以上、第 189 回コバルト短編の話題でした。

こんにちは、らくだです。

様々なコンテストを実施しているコバルトが、このたび新たな投稿企画を開催する模様です。

今回はなんとお料理研究家、平野レミさんとのコラボ企画。

一風変わったコンテストですが、詳細は公式サイトをご覧ください。

【食べ物のキモチ小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/food_feeling/

- ・ 募集内容 食材や料理を主人公にした小説
- ・ 規定字数 1,000字～3,000字
- ・ 応募方法 Web投稿のみ受付
- ・ 参加締切 9月18日(月)

応募要項を読んだところ、ただ単に料理が出てくる小説ではなく、「食べ物そのもの」が主人公の小説を募集するみたいです。

<サイトに掲載されている例>

- ・ 吾輩は、じゃがいもである。
- ・ わたしとわたし、双子のさくらんぼ。

また受賞者への賞品も、フライパンやエプロンなど、実用的な品物ぞろい。

通常の小説賞とは一線を画する、斬新なコンテストとなっています。

というわけで。

お料理大好き&食べるの大好きな皆様は、いつもの投稿とは一味違った気分で、チャレンジしてみたいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

カクヨム甲子園だと？

高校生じゃないから参加できんわ！

という大人ユーザーのため(?)に、「これは読みたくなる！カクヨム名レビュー発掘会【カクヨム甲子園篇】」という、レビュー企画が実施されています。

詳細はコチラ。

公式ブログの紹介記事をご覧ください。

【カクヨム名レビュー発掘会】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2017/08/04/181235>

・企画概要 カクヨム甲子園の応募作品に寄せられたレビューで特に力が入ったもの数点をカクヨム内の特集ページで紹介する

(第1回と書いてあるので第2回もある模様)

- ・応募締切 8月8日(火)
- ・結果発表 8月9日(水)
- ・賞や賞品 特になし

賞品などは特になしミニ企画のようですが、「自分のコメントが紹介されるかもしれない！」と思うと、レビューを書く際に気合が入りますよね。

しかしアレですね……。

参加リストを見ていると高校生のユーザーも相当多いんですね……。

なんだか自分は肩身が狭い気分ですが、未来ある若者を応援しつつ、自分自身の創作も頑張ろうと思います。

こんにちは、らくだです。

紹介するのが遅れましたが、講談社ラノベ文庫新人賞の 2 次結果が、7 月 31 日に更新されました。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/rookie/7/>

- ・ 応募総数 348 本
- ・ 1 次通過 66 本 (約 19 %)
- ・ 2 次通過 12 本 (約 3 %)

講談社ラノベは 2 次の後が最終ですよ。

どの作品が通過するのか最後まで見守りたいです。

そして、そして。

話題はまったく変わりますが、7 月分のブログを配信しました。

【らくだ図書館 (67)】

<http://p.booklog.jp/book/116404>

いつも毎回思うんですが、ブログで紹介する前に閲覧してくださる方々は、一体どこから辿り着いているのでしょうか…… (謎)

いやでも本当にありがたいです。

これからも「らくだ図書館」本体共々、パブー版もよろしくお願い致します。

集英社ラノベの2次結果 - 2017.08.06 Sun

こんにちは、らくだです。

集英社ライトノベル新人賞（前期）の2次発表がありました。

以下リンク。

17本まで絞られましたが通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx7thAwardEarly/result.html>

- ・ 応募総数 461 本
- ・ 1次通過 66 本（約 14 %）
- ・ 2次通過 17 本（約 4 %）

なお以前も話題にしましたが、集英社ラノベの評価シート送付は、1次通過以上となりました。

これ……。

地味に痛いですね……。

今までは1次落ちでも選評があったので、落選した理由がわかって改稿の余地があったのですが、選評がなくなったらお手上げ状態というか。

いやまあ。

通過すれば貰えるんですが、それが何より難しいわけで。

そうはいつでも、評価シート自体がなかった昔に比べれば、今の状況は投稿者にとって恵まれているので、色々と試行錯誤しつつ頑張りたいと思います。

以上、集英社ラノベ2次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

様々な投稿企画を実施しているコバルトに、今週また新しいコンテストが登場しました。

以下リンク。

今回も一風変わった企画となっています。

【編集（て）の夏の三題噺大賞！】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/sandaibanashi/>

- ・ 募集内容 以下3つのキーワードを使ったショートストーリー
- ・ キーワード 「バカンス」「コップ」「絶体絶命」
- ・ 応募方法 上記サイトからウェブ投稿
- ・ 最終締切 2017年8月31日（木）
- ・ 規定字数 750字～800字
- ・ 賞 図書カード5,000円

三題噺（さんだいばなし）とは、無関係な3つのキーワードを使って小説を書くというもので、新人漫画家さんのネーム練習などにも使われているそうです。

ちなみに集英社の入社試験でもよく出題されるとか。

入社試験で小説を書かされるとは、さすが出版社という感じですね。

それから応募のヒントとして、『選者は「バカバカしいもの」と「一発ギャグ」が大好きです』と書いてあるので、笑える話が良さそうな印象です。

規定字数も割と短めで、それこそ長編のあらすじ程度の文字数なので、皆様是非チャレンジしてみたいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新コンテスト「カドカワ BOOKS ×カクヨム “日帰りファンタジー” 短編コンテスト」が開催される模様です。

受付開始は9月1日からですが、参加予定の皆様は夏休みなどを利用して、今から書き始めるとよさそうですね。

(夏休みがあれば、の話ですが……)

【応募要項】

https://kakuyomu.jp/contests/kadokawabooks_contest

- ・ 募集内容 異世界と現代を行ったり来たりする日帰りファンタジー小説
- ・ 受付期間 2017年9月1日(金)～2017年10月1日(日)
- ・ 規定字数 本文5,000字～20,000字
- ・ 賞 最優秀賞(1名)賞金10万円

非常に面白そうなコンテストではありますが、「日帰りファンタジー」の定義がわかりづらいので、戸惑っているユーザーさんも多いようです。

これ、どうなのでしょうね？(汗)

たとえば『ドラえもん』はOKなのか……。

あの作品は過去や未来を行ったり来たりできるけど……。

というわけで疑問点も多いですが、詳しい説明がこれから補足されることを期待しつつ、しばらく様子見しようと思います。

以上、日帰りファンタジー短編コンテストの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

某所はフラゲ祭りで盛り上がっていたようですが、本日昼ごろ、電撃小説大賞の 2 次発表 & 3 次発表がありました。

これまで公式発表は 10 日が相場でしたが、最近は 10 日が土日じゃなくっても、少し早めに発表するケースが多いですね。

何はともあれ以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_24_01.html

- ・ 応募総数 5,088 本
- ・ 1 次通過 575 本 (約 11.3 %)
- ・ 2 次通過 216 本 (約 4.2 %)
- ・ 3 次通過 79 本 (約 1.5 %)

落ちてしまった方々は無念でしょうが、悔しいのは本気で取り組んでいる証拠でもありますし、そんな自分に誇りを持ってください。

なんて偉そうに言えるのは、自分が今回不参加だったからで、実際に落ちた時は荒れ狂いましたけどね……
(遠い目)

それはさておき 4 次発表は来月。

選考に残っている皆様の通過を陰ながら祈っております。

以上、電撃 2 次 & 3 次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

えんための 3 次通過（最終候補）の発表がありました。

以下、それぞれのリンクです。

【ファミ通文庫部門】

- ・ 応募総数 533 本
- ・ 1 次通過 124 本（約 23 %）
- ・ 2 次通過 12 本（約 2 %）
- ・ 3 次通過 4 本（約 0.8 %）

【ビーズログ文庫部門】

- ・ 応募総数 304 本
- ・ 1 次通過 38 本（約 13 %）
- ・ 2 次通過 9 本（約 3 %）
- ・ 3 次通過 5 本（約 2 %）

【ビーズログ文庫アリス部門】

- ・ 応募総数 137 本
- ・ 1 次通過 17 本（約 12 %）
- ・ 2 次通過 7 本（約 5 %）
- ・ 3 次通過 3 本（約 2 %）

通過された皆様はおめでとうございます！

なおファミ通部門は次回の受付が始まっていますが、ビーズログ部門とアリス部門は、応募要項が発表されていないのが気になりますね。

リニューアルで遅れているならいいですが、廃止になってしまったら寂しいですし、これからも賞として存続して欲しいです。

こんにちは、らくだです。

コバルトの連載企画「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

第8回となる今回は「『行アキドーピング』に要注意。一行アキは必要最小限で！」というテーマです。

詳細は下記リンク先をご覧ください。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/001554/>

簡単にまとめると、

- ・行アキの乱用やめようぜ
- ・そのせいで読みにくくなってるケースが多いんだわ

という感じの内容です。

テーマそのものは前回と同じですが、具体的な考察などが載っています。

個人的には「別にいいじゃん？」と思いますが、選考する側へ無駄に悪印象を与えないためにも、（特にコバルトへ投稿する際は）行アキは極力控えた方がよさそうですね。

なおアドバイスの中にあった、

「余韻は、行アキではなく文章自体から醸しだされるもの」

この一文には自分も同意。

行アキ使用の是非はともかく、余韻や間を文字で表現できるに越したことはないので、文章力を磨きたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムにて開催されていた「NOVEL 0・大人が読みたいエンタメ小説コンテスト」の中間結果発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/novel0_contest/nominated

- ・ 応募総数 1,072 本
- ・ 中間通過 40 本
- ・ 通過率 約 3.7 %

なおこのコンテスト、

- ・ 成人男性が主人公であること
- ・ 異世界転生ジャンルは投稿禁止

というなかなか厳しい制約がありましたが、それにも関わらず、1,000 本を超える応募が集まった模様。

異世界転生はネット小説の主流ジャンルですが、それを禁止してもこれだけ盛況なんて、多種多様な小説が存在している証拠ですよ。

カクヨムはせっかく新しい投稿サイトなわけですし、メジャーなジャンルだけでなく、マイナージャンルの開拓もどんどんして欲しいです。

以上、大人が読みたいエンタメ小説コンテスト中間発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

以前から足を痛めていたのですが、いよいよ歩くのもツラくなって、お盆ですが病院へ行ってきました。

しかしながら……。

3 軒回っても原因不明で解決せず……。

というわけでテンション最低ですが、足が痛くてもデスクワークはできるので、ブログはぼちぼち更新していきます。

さてさて。

第 7 回集英社ライトノベル新人賞（前期）の評価シートが発送されました。

今回送信されたのは、1 次通過（2 次落選）分。

問い合わせ先などの詳細は公式ブログに載っています。

【評価シート送信のお知らせ】

http://sdbunko.blogspot.jp/2017/08/blog-post_9.html

リニューアルで選評の仕様が変わったらしく、1 次担当者と 2 次担当者の評価シートを、それぞれ別メールで送信している模様です。

というわけで。

2 通届いても重複ではないので、削除しないようにしましょう。

しかし選評が 1 次通過以上になったので、希望者全員が受け取れた今までと違って、誰もが入手できる代物ではなくなってしまいましたね。

自分も次は 1 次通過して、選評をゲットしたいです。

こんにちは、らくだです。

残暑の厳しい折ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。

なお自分は足が痛くて引きこもっています。

まあ足が痛くなくっても引きこもりではありますが。

さて本題。

第 10 回 GA 文庫大賞（前期）の 1 次結果が出ました。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/10/index.html>

- ・ 応募総数 546 本
- ・ 1 次通過 148 本
- ・ 通過率 約 27 %

GA は前にブログかツイッターで、「1 次は 3 本に 1 本通すよ」と言っていたので、毎回 30 %前後の通過率に落ち着いている模様。

この 30 %というのは、他賞と比較すると、割と多めですよ。

まあ多めであったとしても、自分は 1 次で落ちますけれど。

（言われる前に言っておくスタイル）

それはさておき、例年通りなら来月には 2 次発表があるはずなので、どの作品が通過するのかサイトの更新を楽しみに待ちたいです。

以上、GA1 次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

来たる8月17日(木)より、カクヨム甲子園に関する特別番組が、4日連続(毎回20:00～)ニコ生で放送されます。

ニコ生会員はタイムシフトもできる模様。
詳細は公式ブログのお知らせをご覧ください。

【目指せ「カクヨム甲子園」入賞！ニコニコ生放送で特別番組が放送されます】

・第1夜(8/17) 20:00～

「『メッタ斬りコンビ』に学ぶ文学賞必勝法」

<http://live.nicovideo.jp/watch/lv304472104>

・第2夜(8/18) 20:00～

その1「小説を書く17歳JKをコメントで援助する枠」

<http://live.nicovideo.jp/watch/lv304797801>

その2「文学賞をとるべくスパルタ小説講座を受けるN高生を見守る枠」

<http://live.nicovideo.jp/watch/lv304804969>

1と2は配信時間が同じなので、同時視聴はできないようです。

(ずらしてくれたらいいのに！)

一応はカクヨム甲子園を応援する番組ですが、それ以外の投稿者にも役に立つ内容らしいので、お時間の合う方はチェックしてみてくださいはいかがでしょうか。

なお第3夜以降のアドレスは、現段階では発表されていないので、公開されたらまた紹介します。

こんにちは、らくだです。

毎年恒例となったアルク翻訳コンテストですが、今年も開催が決定したようで、課題や応募要項が公式サイトに掲載されました。

以下リンク。

翻訳にご興味のある方はご覧ください。

【アルク翻訳コンテスト 2017】

<https://www.alc.co.jp/translator/article/tobira/contest2017.html>

- ・ 募集部門 出版翻訳部門、実務翻訳部門、字幕翻訳部門
- ・ 参加資格 特になし（翻訳経験の有無問わず）
- ・ 最終締切 2017年10月31日（火）23:59
- ・ 審査結果 2018年2月15日（木）発表
- ・ 応募方法 専用サイトから Web 応募
- ・ 課題英文 上記リンク先に掲載

（個人の応募のみ受付、複数人の共作は不可）

翻訳系のコンテストの場合、課題雑誌を買う必要があったりしますが、このコンテストは大丈夫。

課題文は誰でも閲覧できるので、翻訳初心者の方にとっても、挑戦しやすい賞となっています。

というわけで。

翻訳クラスタの皆様は是非チェックしてみてください。

以上、アルク翻訳コンテスト 2017 の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催されていた「僕とキミの 15 センチ 短編小説コンテスト」の中間結果が発表されました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/famitsu_short_story/nominated

- ・ 応募総数 526 本
- ・ 中間通過 100 本
- ・ 通過率 19 %

今回のコンテストは通過率が非常に高く、フタを開けてみれば、応募数の 19 %が最終選考に残る結果に。

まあそれでも 81 %は落ちるんですが。

これを高いと感じるなんて感覚がマヒしているのかもしれない。

それはさておき通過リストを見ると、青春物・ミステリー・下ネタ（？）等々、バラエティ豊かな作品が揃った模様。

同じ「15cm」というテーマを使っても、作者の解釈は様々なので、それを比較するのも面白いですよ。

なお最終発表は来月予定ということなので、サイトの更新を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

先日足を痛めていると書きましたが、一週間ほど安静に過ごした結果、少しずつ快方に向かっております。

ひとまず近所のスーパーへ行ける程度には治りました。
心配してくださった皆様どうもありがとうございます。

さて本題。
講談社ラノベ文庫新人賞の最終候補作品が決定しました。

以下リンク。
通過された3名の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/rookie/7/>

- ・ 応募総数 348 本
- ・ 1次通過 66 本（約 19 %）
- ・ 2次通過 12 本（約 3 %）
- ・ 最終候補 3 本（約 0.9 %）

なおこちらの新人賞、今まで毎年4月30日が締切でしたが、次回の締切は2018年5月10日となっております。

まあ遅くなる分には問題ないですが、応募要項は年によって変わるケースも多いので、投稿する前にしっかりチェックしたいところですね。

以上、講談社ラノベ文庫新人賞の最終候補の話題でした。

皆様こんにちは。

今回は小説賞の紹介です。

産業編集センターが開催している「暮らしの小説大賞」の応募受付が今年も始まりました。

募集自体は6月下旬から始まっていますが、締切は11月なので、今から取り組んでも十分に時間はあります。

以下、詳しい応募要項。

【第5回暮らしの小説大賞】

<https://www.shc.co.jp/book/kurashi/>

- ・ 募集内容 心をゆさぶるエンタテインメント小説（ジャンル不問）
- ・ 規定枚数 400字詰め原稿用紙換算で200～500枚程度
- ・ 最終締切 2017年11月30日（木）
- ・ 参加資格 プロ・アマ問わず
- ・ 応募方法 ウェブ投稿のみ受付
- ・ 文書形式 「.doc」「.docx」「.txt」
- ・ 大賞賞金 100万円&単行本として出版確約

これまでは「衣・食・住」がテーマの賞でしたが、今回からジャンルもテーマも自由になったので、より応募しやすくなったのではないのでしょうか。

というわけで。

一般寄りの小説を書かれる皆様は、詳細をチェックしてみてください。

以上、暮らしの小説大賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

富士見ファンタジアの短編部門「ドラゴンマガジン賞」の2次結果が公式サイトに掲載されました。

以下発表ページ。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php#thirtysort

- ・応募総数 305 本
- ・1次通過 52 本（約 17 %）
- ・2次通過 21 本（約 7 %）

個人的に気になったタイトル

『クリスマス撲滅委員会』

『終末バレンタイン ～お前ら、チョコがほしいなら奪い取れ～』

こんなん共感するしかないわ（真顔）

と思ったら同じ作者さんじゃないですか！

ぜひ読んでみたいので通過することを期待してます！

なお「次は受賞作の発表」とあるので、3次選考はなく、この21本が最終候補作品になる模様。

日付も9月20日と予告されているので、どの作品が受賞してドラゴンマガジンに掲載されるのか、サイトの更新を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催中の怖い話コンテスト、「カクヨム異聞選集」について、様々な応援企画が実施されている模様。

というわけで。

今回は一連の内容をまとめて紹介したいと思います。

【カクヨム運営スタッフ、深川不動堂へお祓いに】

今回は怖い話のコンテストなので開催直前にお祓いをしたそうです。公式ブログの記事の中にカクヨム鳥の写真も載っていて見応えアリ。

【「ニコニコ君のなつやすみ」とコラボレーション】

「ニコニコ君のなつやすみ」はニコニコの夏季限定特設ページ。夜になるとカクヨム異聞選集の応募作品が抜粋されて紹介されるとか。

【「月刊ムー」2017年9月号にスペシャル広告掲載】

カクヨム編集部の怖い話が掲載されたスペシャル広告が登場。リンク先の末尾に載っていますがオチもしっかりあるようです。

【応募要項に怖〜いイラスト追加】

応募要項にホラー漫画家さんの怖〜いイラストが追加されました。また怪談で有名な稲川淳二さんがゲスト審査員として参加決定した模様。

とりあえず以上です。

関東方面は雨続きで涼しいようですが、そんな夏をさらに涼しくする(?)怖い企画を、皆様楽しんでみてはいかがでしょうか。

以上、カクヨム異聞選集の応援企画の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

えんため 3 部門の最終発表がありました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【ファミ通文庫部門】

- ・ 応募総数 533 本
- ・ 1 次通過 124 本 (約 23 %)
- ・ 2 次通過 12 本 (約 2 %)
- ・ 3 次通過 4 本 (約 0.8 %)
- ・ 受賞 4 本 (約 0.8 %)

【ビーズログ文庫部門】

- ・ 応募総数 304 本
- ・ 1 次通過 38 本 (約 13 %)
- ・ 2 次通過 9 本 (約 3 %)
- ・ 3 次通過 5 本 (約 2 %)
- ・ 受賞 3 本 (約 1 %)

【ビーズログ文庫アリス部門】

- ・ 応募総数 137 本
- ・ 1 次通過 17 本 (約 12 %)
- ・ 2 次通過 7 本 (約 5 %)
- ・ 3 次通過 3 本 (約 2 %)
- ・ 受賞 1 本 (約 0.7 %)

というわけで無事に受賞作が決定しましたが、講評や受賞者コメントは後日公開されるようなので、アップされたらまた紹介したいと思います。

皆様こんにちは。

今回はねとらぼに載っていた面白いニュースをご紹介します。

新しくオープンしたシェアハウスの話題なのですが……。

[【共有スペースはライトノベルだらけ！「ラノベ制作のプロを目指している人」しか住めないシェアハウスがオープン】](#)

- ・ 物件名 SCH 西日暮里
- ・ 家賃等 65,000 円（敷金、礼金不要）
- ・ 共益費 10,000 円（水道光熱費、ネット代、書籍代込み）
- ・ 入居資格 ラノベ制作のプロを目指しているクリエイターであること

なんとこのシェアハウス、共有スペースに 600 冊超のラノベがあって、入居者は作品研究などに利用できるんだとか。

リンク先に写真もあります。

まるで漫画喫茶のようですが無料で使えるところがいいですね。

具体的な入居資格は、

「ライトノベル分野でプロの作家や編集者、挿絵イラストレーター、装丁デザイナーなどになりたい人」

つまりワナビなら条件クリア！！！！

なお現在募集中の部屋は 2 つなので、入居の競争率はなかなか高そうな感じですが、ご興味のある方は詳細をチェックしてみてくださいはいかがでしょうか。

以上、ワナビシェアハウスの話題でした。

こんにちは、らくだです。

ドラクエ11が発売されたのに、プレイどころか、まだ購入すらできていません。

仕方ないんや……。

今は艦これで精一杯や……。

(今回の夏イベ大変ですよ)

とまあそれはさておき。

第23回スニーカー大賞(春締切)の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://sneakerbunko.jp/award/index.php>

今回気になった作品は、

『煉獄のパルプ〇テ ～異世界賭博士の日常～』

え？

これ大丈夫なの？

前回あった『涼宮ハルヒになりたかった女の子の話』は、同じスニーカー文庫だからいいとして、明らかにドラクエ元ネタの作品って平気なんですか。

まあ問題ないから1次通過したんだろうし、〇に入る文字が「ン」とは限らないですし、2次選考も通過することを願っています。

以上、スニーカー1次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトで開催されていた、「ネコ小説賞」の最終結果が、公式サイトにアップされました。

今回の応募総数は 47 本。

その中から 1 本が大賞を射止めた模様です。

受賞様はおめでとうございます！

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/cat_novel_result/

なお自分は、イヌ派かネコ派か聞かれた場合、「カメ派です（真顔）」と答えるようにしています。

カメはいいぞ……。

ずっと世話していると懐いてくれるぞ……。

まあ育ったのがアパートだったせいで、イヌもネコも飼えなかったのが理由なんですけど、あのモフモフ感
はカメにはない大きな魅力ですよ。

ちなみに今回のネコ小説賞ですが、大賞の他にも審査員特別賞を 2 本選出して、さらには「もう 1 歩の作品」にもコメントが貰えるとか。

そちらの更新は来週末らしいので、公式サイトに掲載されたら、また追って紹介したいと思います。

以上、ネコ小説賞の発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

第13回 MF 文庫 J 新人賞の通期の最終結果が発表されました。

受賞者の皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/13/>

リンク先に講評が載っていますが、特に自分の心に残ったのは、志瑞祐先生のコメントの後半です。

要約すると、

- ・審査員の作品に対する評価はバラバラで多様性がある
- ・実際のところ審査の場で満場一致の評価が出ることはほとんどない
- ・十人が散々な評価をしても、誰か一人の心に深く突き刺されれば、その作品はきっと成功する

という感じの話が書いてあります。

詳しくはリンク先の講評をチェックしてみてください。

これってものすごく、大切なことですよ。

たとえば選評で酷評されたりすると、「あーこの作品ダメなんだ」と落ち込んでしまいがちですが、それはあくまで一人の評価なわけで。

もちろん指摘された良くない部分を直すのは大事ですが、そもそも万人受けなど無理な話だし、自分の小説を全否定する必要はないよなーと思いました。

というわけで。

今回は MF 文庫 J 新人賞（通期）最終結果の話題でした。

こんにちは、らくだです。

以前カクヨムで「あなたの街の物語コンテスト」が実施されました。
その続編企画として今度は動画のコンテストが開催される模様です。

今回はカクヨムとは無関係のようですし、小説のコンテストでもありませんが、せっかくなので応募要項のリンクを掲載。

【フレフレ 2020 動画コンテスト】

<https://hurehure2020.com/>

- ・ 募集内容 自分の夢や伝えたいメッセージを表現した動画
- ・ 実施部門 パフォーマンス部門、映像クリエイティブ部門、ひと言メッセージ部門
- ・ 参加資格 誰でも OK (国籍、年齢、性別など不問)
- ・ 応募締切 2017 年 10 月 20 日 (金)
- ・ 動画の長さ 10 秒～10 分以内
- ・ ファイルサイズ 1GB 以内

動画のコンテストと聞くと敷居が高そうですが、最短 10 秒ですスマホで撮った映像でも OK なので、誰でも気軽にチャレンジできそうな企画ですね。

なおページ下部の、

「お問い合わせは日本語または英語でお願いいたします」

この表記に国際性を感じました。

さすがオリンピックに向けた企画です。

というわけで今回はフレフレ動画コンテストの紹介でした。

ご興味を持たれた皆様はぜひ詳細をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

8月も残りわずかとなりました。

学生の皆様は夏休みの終了が名残惜しい限りでしょう。

さて本題。

ファンタジア大賞の公式サイトに投稿の注意事項が掲載されました。

月末の締切まで残り数日ですが、割と重要なことが書いてあるので、ウェブ応募に慣れていない方々は要チェックです。

【ファンタジア大賞・注意事項】

<https://www.fantasiataisho.com/news/#n516>

- ・アカウント登録はお済みですか？
- ・名前の登録について
- ・応募歴の入力について
- ・投稿フローを予めご確認ください
- ・アップロードガイドをご覧ください
- ・再投稿は禁止です
- ・投稿締め切り間際のお問い合わせについて

以上の7項目について詳しいアドバイスが載っています。

いずれも基本的な事項ではありますが、締切当日はバタバタしがちなので、できれば事前に確認しておきたいですね。

なお8月末といえばファンタジア以外にも、野性時代やオーバーラップ等の締切があるので、投稿される予定の皆様は頑張ってください。

こんにちは、らくだです。

Word でルビを使いたい！

でもそうすると行間があいて格好悪い！

という皆様にスペシャル朗報。

作家の木下昌輝さんが具体的な解決策をツイートされています。

画像を UP すると無断転載になるので、元ツイートへのリンクを掲載しますね。

[【Word ファイルでルビを入れても行間が崩れない方法】](#)

素敵すぎる！

悩める投稿者の救世主！

なお自分は Google で調べまくって自力で設定したのですが、他人に説明できるほど詳しく理解できていないので、こんな風にわかりやすくまとめた資料はありがたい限りです。

それにしても Word って……。

自分もユーザーですが色々不親切ですよね……。

ルビの行間崩れもそうですが、個人的には 1 マス開けると勝手にインデント処理されるのも、正直イライラしております。

(たぶん設定で解決できると思いますが)

なにはともあれ、ルビの問題はこれでバッチリ解決するので、悩める Word ユーザーさんは参考になさってみてください。

以上、Word でルビを入れても行間が崩れない方法の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

第4回オーバーラップ文庫大賞（通期）の最終結果が発表されました。

以下リンク。

受賞作のリストと編集部による総評が載っています。

受賞された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2016/announcement.aspx>

- ・ 第1ターン（5月締切）137作
- ・ 第2ターン（8月締切）238作
- ・ 第3ターン（11月締切）102作
- ・ 第4ターン（2月締切）189作
- ・ 合計応募数 666作
- ・ 受賞した作品 4作

8月の応募数が多いのは夏休みの影響ですかね。

それと秋は締切の賞が多いから、応募が分散した感じでしょうか。

なお発表ページには作品名しか載っていませんが、受賞作品それぞれの内容は、第4回オーバーラップ特設サイトで確認できます。

【第4回受賞作・特設サイト】

<http://over-lap.co.jp/bunko/bunkotaisho4/>

今は簡単なあらすじだけ載っていますが、これから情報が追加されていくみたいなので、今後の更新を楽しみにしたいと思います。

いえーい！

夏の火鍋は最高だぜー！



というわけで。

毎度なので詳細は省きますが、小肥羊で火鍋を食べてきました。

今回はじめて火鍋の記事を見たという方は、美味しい上にスタミナもつくので、是非とも本場の火鍋を食べてみてください。

(お店少ないですが関東にはたくさんあります！)

【中国火鍋の小肥羊】

<http://www.hinabe.net/>

あと記事には書いていませんが、お盆期間に温泉旅行へ行きました。

2泊3日の出雲旅行です。

グルメや神社巡りなど、温泉以外にも、色々な経験ができました。

とても楽しかったので紹介したいと思いつつ、写真を選んでアップするのが大変で、もう3週間くらい放置状態になっていますが……(汗)

まあとにかくそんなわけで。

近ごろ更新が不定期ですが、自分は元気にやっています。

以上、特にヤマもオチも存在しない内容ですが、思えば今月は近況報告する余裕もなかったもので、かなり久しぶりに火鍋の話などをしてみました。

次回からはまた投稿の話をするので、引き続きどうぞよろしくお願いします。